

## 第9回全社工務関係業務研究発表会 開催

### 全社工務関係業務研究発表会の概要

本発表会は、電力流通設備を管轄する支店や電力センターなど第一線事業場における業務改善研究やコストダウンの検討・実施事例等を発表し、全社水平展開する場として平成11年度より電子通信部・系統運用部・工務部・土木建築部の4部合同で開催しています。

発表会を通じて、第一線事業場の日常業務に密着した技術研究に対する意識高揚、更なる現場技術力のレベルアップ、支店間および部門間の情報共有化を図っています。

### 第9回全社工務関係業務研究発表会

第9回を迎えた今年は9月12日、中電労組会館において、約160名が参加する中、20件の研究活動の成果が発表されました。公衆保安対策、劣化診断結果やその具体的な適用方法など、いずれも電力安定供給や電力品質

確保に資する研究成果が披露され、活気ある発表会となりました。審査の結果、最優秀賞および6件の優秀賞が次のとおり選ばれ、審査委員長の高木工務部長より表彰状が授与されました。



発表会の様子

### 最優秀賞の概要

人工ゼオライトを利用した鉄塔敷地保護工法の開発

発表者：多治見電力所 送電課 すけなり まさおみ 祐成 優臣

[概要]

山地の傾斜地に設けられた鉄塔の敷地では、雨水などで表土が流出するのを防ぐため保護工事を行っている。しかし、岐阜県の東濃地方から愛知県の奥三河地方にかけて広く分布する軟弱な真砂(まさ)土は、客土吹きつけ等の対策工事をして表土が流出し、保護効果が継続しない。

このため、石炭火力発電所で発生する人工ゼオライトと現地の真砂土を混ぜ合わせることで、表土流出を防止できる鉄塔敷地保護工法(特許出願中)を開発した。



(対策前)



(対策後)

鉄塔敷地保護工法(植生状況)

### 優秀賞 受賞件名

件名	所属	発表者
低責務型避雷装置活線取付工法の開発	静岡支店 技術部 送電課	重村 隆元
「充電部接近警報器」を使用した感電防止策の検討	掛川電力所 駿遠変電所	和田 享良
放流限度量変更によるダム操作性向上と公衆保安確保の両立	岐阜支店 技術部 土木建築課	花岡 博
マイクロ波多重無線系統における瞬断多発区間のフェーシング対策について	飛騨電力センター 電子通信課	安藤 憲治
霰(変)電線地絡検出感度確保に向けた取組	塩尻電力センター 発変電技術課	山崎雄一郎
変電所無効電力による電圧上昇対策の検討について	岡崎支店 技術部 給電課	野呂 浩